

ぎだゆうぶし 語ってみよう！義太夫節！

何でも表現できる「声の力」ってすごい！
子ども達に「ニッポンの伝統音楽・伝統演劇」をお伝えする絶好の機会！

義太夫節（浄瑠璃^{じょうるり}=語り）を通して、喜怒哀楽を表現する楽しさを体感！

歴史上のでき事や恋愛の物語など、
人間の織りなすさまざまな「ドラマ」を、
三味線の演奏にのって「語る」芸能…
それを「浄瑠璃」と言います。



浄瑠璃にはいろんな種類がありますが、

何と言っても浄瑠璃を代表するのが「義太夫節」と言えましょう。

「太夫」といわれる語り手が、基本的に1人で老若男女や喜怒哀楽を語り分け、力強く、優しく、哀愁に満ちた音色を奏でる太棹の三味線と一体になって物語の世界を作り出します。

うなって語れば「絵」が見えてくる

… そんな浄瑠璃の楽しさと魅力に触れて、思い切り想像力を刺激してみませんか？！

義太夫節の魅力を伝えようと頑張る女流義太夫の若手太夫、三味線奏者の皆さんが、
伝統芸能の“おもしろさ、楽しさ、カッコよさ”を皆さんにお届けしようと、
元気に皆さんの学校にうかがいます！



公演内容

(予定：各学校の皆様と相談しつつ進めて参りたく存じております)

① 義太夫節を聴いてみよう！

『日高川入相花王 (ひだかがわいりあいざくら)』『渡し場の段』より

② 義太夫節って何だろう？～その1 (太夫が語る「浄瑠璃」って？／三味線について)

③ 義太夫節って何だろう？～その2 (「校歌」を聴かせて！校歌斉唱⇒「校歌」が義太夫節に！?)

④ ワークショップ体験発表コーナー

『菅原伝授手習鑑 (すがわらでんじゅてならいかがみ)』『車曳の段 (くるまびきのだん)』より

⑤ 質問コーナー

⑥ 全員体験コーナー 義太夫節の「大笑い」！ みんなで舞台の幕を開けよう「口上」！

⑦ 義太夫節を楽しもう！

『菅原伝授手習鑑 (すがわらでんじゅてならいかがみ)』『車曳の段 (くるまびきのだん)』



出演者ご紹介

◇一般社団法人 義太夫協会

義太夫節の伝承、向上発展と普及を目的に設立され、義太夫節を志す若手から人間国宝までが所属しています。国立劇場演芸場やお江戸日本橋亭における定期演奏会を主催し、毎回多くの愛好者に支持されています。会員は日本舞踊公演や邦楽演奏会、各種プロデュース公演、大学講義への出講、全国各地の学校への普及公演など幅広く活躍中。さらに義太夫節に関する資料の収集・保存にいたるまで、義太夫節のこれからの展開にはなくてはならない存在です。とくに若手の太夫、三味線奏者たちの普及にかける情熱は内外から高く評価されています。